

利尻島・礼文島から得られたハサミムシの記録 附北海道産ハサミムシ関係文献目録

西川 勝

〒790-8566 愛媛県松山市樽味3丁目5-7 愛媛大学農学部環境昆虫学研究室

Record of Earwigs on Rishiri and Rebun Islands, Northern Hokkaido, with References on Dermaptera of Hokkaido, Japan

Masaru NISHIKAWA

Laboratory of Environmental Entomology, Faculty of Agriculture, Ehime University,
Tarumi 3-5-7, Matsuyama 790-8566, Japan

Abstract. A forficulid earwig, *Forficula mikado*, from Rebun Island and the Japanese hump earwig, *Anechura harmandi*, from Rishiri and Rebun Islands, northern Hokkaido, are recorded for the first time.

北海道には、ハマベハサミムシ *Anisolabis maritima* (Bonelli), イソハサミムシ *Anisolabis seirokei* Nishikawa, チビハサミムシ *Paralabelulla curvicauda* (Motschulsky), ミジンハサミムシ *Labia minor* (Linnaeus), クロハサミムシ *Nesogaster lewisi* (Bormans), オオハサミムシ *Labidura riparia* (Pallas), コブハサミムシ *Anechura harmandi* (Burr), キバネハサミムシ *Forficula mikado* Burr, クギヌキハサミムシ *Forficula scudderii* Bormans, クギヌキハサミムシの近縁種 *Forficula paratomis* Steinmann, エゾハサミムシ *Eparchus yezoensis* (Matsumura & Shiraki) の11種のハサミムシが記録されているが、このうち、利尻島からはハマベハサミムシ, クギヌキハサミムシ, キバネハサミムシの3種, 礼文島からはハマベハサミムシ, クギヌキハサミムシの2種しか記録されていなかった(花谷ら, 1968; Nishikawa, 1969; Nishikawa, 1970).

この度獨協医科大学石井清准教授より、利尻島と礼文島の土壌動物相調査で得られた礼文島のハサミムシ1頭の同定を依頼され、礼文島初記録のキバネハサミムシの雌である旨報告したところ、報告を

勧められた。この機会に、北海道の記録に関する文献(北海道産ハサミムシ関係文献目録参照)を再調査するとともに、利尻町立博物館所蔵標本、愛媛大学農学部環境昆虫学研究室所蔵標本および私の標本を調査した。その結果、コブハサミムシが利尻島及び礼文島で採集されていることを知ったので、あわせて報告する。

なお、国土交通省の河川水辺の国勢調査において、北海道(鶴川・石狩川)からチビハサミムシ(*Paralabella curvicauda* (Motschulsky)として)が記録されているが、ミジンハサミムシの誤同定と思われる。また、クギヌキハサミムシの近縁種として Steinmann により記載された *Forficula paratomis* Steinmann の札幌近郊産の個体(パラタイプのみ)はクギヌキハサミムシの誤同定と思われる。

調査標本のデータは、利尻島および礼文島に分けて、性別・発育態別個体数、採集地(ラベルに明示されている場合のみ)、採集日、採集者の順とし、その後に標本の所在を[]内に記した。西川コレクションは[西川]、愛媛大学農学部環境昆虫学研究室は[愛大]、利尻町立博物館は[利尻博]と略した。

西川コレクションの標本のうちコブハサミムシ以外は、花谷ら (1968), Nishikawa (1969, 1970) により既に報告されたものである。

本小文をまとめるにあたり、投稿を勧められた獨協大学国際教育研究施設医学基盤教育センター石井清准教授ならびに所蔵標本の検討を許可された愛媛大学農学部環境昆虫学研究室の大林延夫教授と酒井雅博教授、利尻町立博物館の佐藤雅彦氏、礼文島における土壤動物調査およびハサミムシの採集にご協力いただいたレブンクル自然館の宮本誠一郎氏、利尻島産ハサミムシ標本を提供いただいた北海道昆虫同好会の松本英明氏にお礼申し上げる。

ハサミムシ科 Anisolabididae

1. ハマベハサミムシ Fig. 1(a-c)

Anisolabis maritima (Bonelli, 1832)

本種は世界共通種で、日本全土に分布する。海岸や河原に多く、打ち上げられた海草の下やゴミ屑の中に見出される。家畜の糞尿の堆積場所や有機物の多いゴミ溜めなどにも高密度で棲息する。

利尻島：1♂, 2♀♀, 鴛泊, 9.VIII.1965, 東京農業大学第一高等学校生物部 [西川]; 1♀, 鴛泊, 10.VIII.1965, 東京農業大学第一高等学校生物部 [西川]; 1♂, 2♀♀, 仙法志, 13-14.VI.1992, 佐藤雅彦. [利尻博]; 4若虫, 鬼脇・沼浦, 8.X.2008, 佐藤雅彦. [利尻博].

礼文島：1♀, 26.VII.1966, 三田守茂, [西川].

クギヌキハサミムシ科 Forficulidae

2. コブハサミムシ Fig. 1(f-j)

Anechura harmandi (Burr, 1904)

本種は千島, 樺太, 朝鮮半島 (?), ウラジオストック, 日本 (北海道, 四国, 九州) に分布する。主に、山地の谷筋, 河原, 湖沼付近の地中 (落ち葉や石の下), 地表, 草木の上などに見出される。北海道では、低地にも棲息する。北海道産の雄のハサミにはアル

マン型とルイス型の2型が知られているのが、調査標本はすべてルイス型であった。しかし、ハサミが太く、ルイス型とアルマン型の中間型を示すものがあつたので、これを便宜上 (L/H) とし、ルイス型を (L) とする。

利尻島 (新記録) : 1♂ (L), 1♀, 20.VII.1968, 相馬完一. [西川]; 1若虫, 22.VII.1966, 野上憲一 [西川]; 1♂ (L/H), 鴛泊, 2.X.1968, 堀義弘 [愛大]; 1若虫, 鴛泊, 10.VII.1958, 宮武睦夫 [愛大]; 1♂ (L: 右側は異常), 鴛泊・姫沼, 23.X.2008, 佐藤雅彦 [利尻博]; 1♂ (L/H), 1♂ (L), 2♀♀, 杵形, 3.X.1968, 堀義弘 [愛大]; 1♂ (L), 2♀♀, 杵形・栄浜, 26.X.2008, 佐藤雅彦 [利尻博]; 1♂ (H), 1♀, 仙法志, 21.IV.1992, 佐藤雅彦 [利尻博]; 1♂ (L), 仙法志, 29.V.1992, 佐藤雅彦. [利尻博].

礼文島 (新記録) : 1♂ (L), 1♀, 船泊・江戸屋, 15.VIII.2008, 宮本誠一郎 [利尻博]; 1♀, 香深・入舟, 14.IX.1995, 宮本誠一郎 [利尻博]; 1♀, 香深・入舟, 26.VIII.2008, 宮本誠一郎 [利尻博].

3. キバネハサミムシ Fig. 1(d, e)

Forficula mikado Burr, 1904

本種は樺太, 朝鮮半島, 日本 (本州中部以北) に分布する。本来山地性だが、北海道では低地でも採集される。本州でも、大きな河川の河川敷や渡良瀬遊水地など低地からも記録されている。雄のハサミには、長角型 (macrolabic) と短角型 (cyclolabic) の2型があるが、調査標本は短角型 (C と略す) であつた。

利尻島 : 2♀♀, 20.VII.1968, 相馬完一. [西川]; 1♂ (C), 1♀, 杵形・森林公園, 21.IX.2008, 佐藤雅彦. [利尻博]; 1♀, 南浜・メヌシヨロ沼, 25.VIII.1992, 佐藤雅彦 [利尻博]; 1♀, 杵形・見返台園地, 23.VIII.2008, 松本英明.

礼文島 (新記録) : 1♀, 香深井, 31.VII.2007, 石井清 [利尻博].

4. クギヌキハサミムシ Fig. 1(k-o), Fig. 2

Forficula scudderii Bormans, 1880

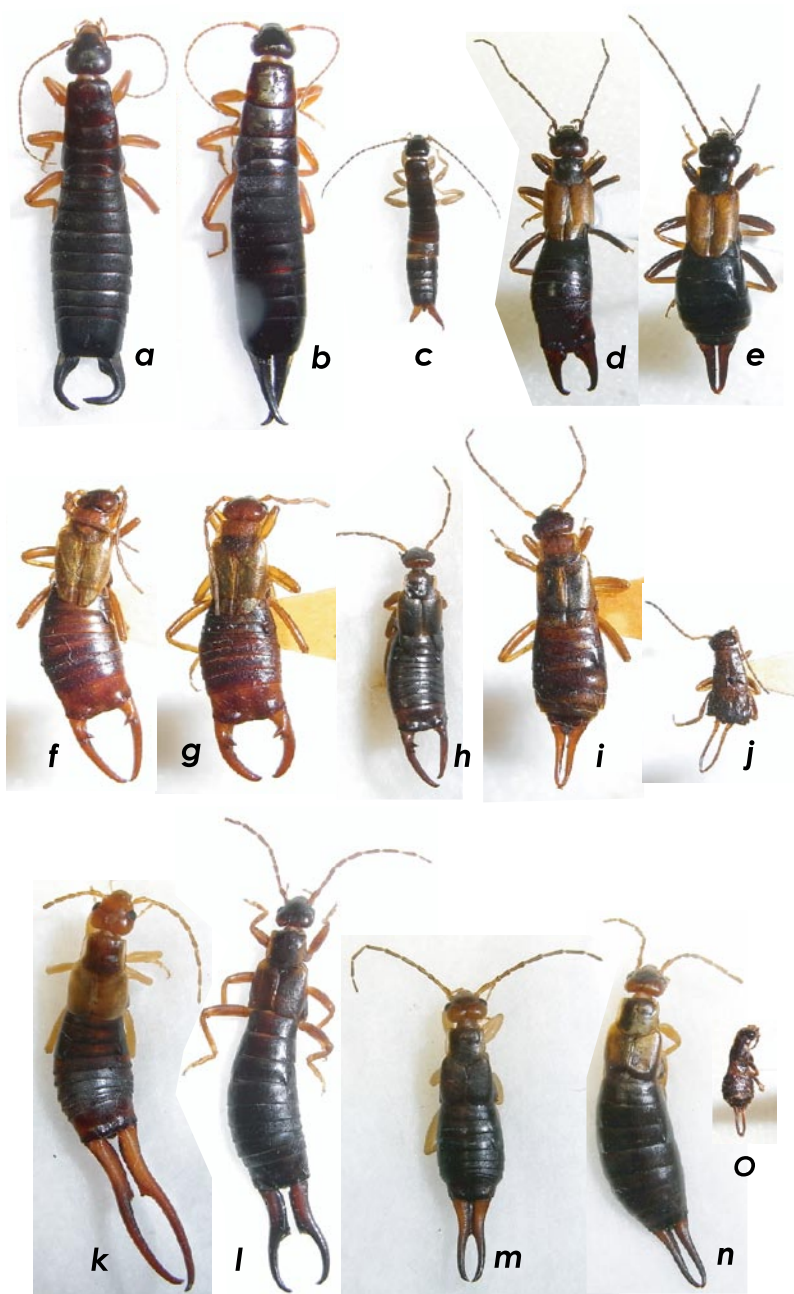


Figure 1. Earwigs collected on Rishiri and Rebun Islands. *a-c*. *Anisolabis maritima*. *a*, male; *b*, female; *c*, nymph. *d-e*. *Forficula mikado*. *d*, cyclorabic male; *e*, female. *f-j*. *Anechura harmandi*. *f*, *lewisi* form male; *g*, intermediate form male between *lewisi* and *harmandi* forms; *h*, *lewisi* form male with right arm deformed; *i*, female; *j*, nymph. *k-n*. *Forficula scudderii*. *k*, macrolabic male; *l*, cyclolabic male; *m*, male with short forceps which inner area of caudal half formed a long oval; *n*, female; *o*, nymph.



Figure 2. Variation of male forceps of *Forficula scudderii* Bormans.

本種は中国東北部，朝鮮半島，日本（本州中部以北）に分布する。本来山地性であるが，北海道では海岸など低地でも採集される。本州でも，大きな河川の河川敷や渡良瀬遊水地など低地からも記録されている。雄のハサミには，長くて後半のハサミで囲まれたところが長卵形となる長角型（macrolabic）と短くて後半のハサミで囲まれたところがほぼ円形となる短角型（cyclo-labic）の2型がよく知られているが，標本の中にはハサミが短く後半のハサミで囲まれたところが卵形～長楕円形のものや，長角型と短角型の中間型もあり（Fig. 2 参照），型を分けることが困難なため分けずに記録した。

利尻島：2♂♂，鴛泊，9.VIII.1965，東京農業大学第一高等学校生物部 [西川]；2♂♂，1♀，1 nymph，20.VIII.1968，相馬完一 [西川]；5♂♂，20.VIII.1968，田宮則幸 [西川]；1♂，杳形・栄浜，12.VII.2008，佐藤雅彦 [利尻博]；1♀，杳形・栄浜，29.VIII.2008，佐藤雅彦 [利尻博]；1♂，鴛泊・ノドットマリ，14.VIII.1995，佐藤雅彦（マレーゼトラップ） [利尻博]；1♂，利尻町立博物館，仙法志，27.VII.1996，佐藤雅彦 [利尻博]。

礼文島：3♂♂，1♀，26.VII.1966，野上憲一 [西川]；1♂，26.VII.1966，三田守茂 [西川]；1♀，香深・入舟，26.VII.2008，宮本誠一郎 [利尻博]。

北海道産ハサミムシ関係文献目録

ばったりぎす編集部，2001. カマキリ・ナナフシ

・ハサミムシ・ゴキブリ分布表. ばったりぎす，(126): 38-45. 日本直翅類学会連絡誌.

花谷達郎・小沼 篤・酒井 香，1968. 利尻島の昆虫 (II)，鱗翅目を除くその他の昆虫. 中村武久（代表著），利尻島動植物調査の記録，79-91. 東京農業大学第一高等学校.

長谷川荘. クギヌキハサミムシ. <http://members.at.infoseek.co.jp/hokudaimushiken/photo-studio/kuginuki.htm>, May 23, 2008*.

北海道千歳市，2008. 昆虫類. ちとせの動物. <http://www.city.chitose.hokkaido.jp/index.cfm/71,4738,103,240.html>, May 23, 2008*.

堀 繁久，2002. ミジンハサミムシを北海道から記録. *jezoensis*, (29): 25.

生き物研究室. 革翅目. 動物ふれあい写真集 (北海道生物図鑑). <http://www.k3.dion.ne.jp/~gecko/zukan/photo/24/hasamimusi.htm>, May 23, 2008*.

木野田君公，2006. 札幌の昆虫. 413pp. 北海道大学出版会.

国土交通省. 河川環境データベース (河川水辺の国勢調査). <http://www3.river.go.jp/index.htm>, May 23, 2008*.

Matsumura, S. & Shiraki, T., 1905. Monographie der Forficuliden Japans. *J. Sapporo Agr. Coll.*, 2: 75-86.

Nishikawa, M., 1969. Notes on the Carcinophor-

- inae of Japan and the Ryukyus (Dermaptera: Carcinophoridae). *Kontyû*, 37 (1): 41-55.
- Nishikawa, M. 1970. On the genus *Forficula* of Japan including the Ryukyus (Dermaptera: Forficulidae). *Kontyû*, 38 (1): 75-83.
- Nishikawa, M. 2006. The Earwig Japan. <http://www.earwigs-online.de/JP/jp.html>, May 23, 2008*.
- Nishikawa, M. 2008. A new species of the genus *Anisolabis* from Japan and Korea, with notes on the nomenclatural problem of two sub-specific names of *Anisolabis maritima* (Bonelli) (Dermaptera: Anisolabididae). *Insecta Matsumurana*, New Series 64: 35-51.
- Sakai, S. 1996. Dermapterorum Catalogus XXXI: Notes on the contemporary classification of Dermaptera and Recent references on Dermaptera. *Bull. Daito Bunka Univ.*, (*Natural Science*), (34): 1(9309)-132(9440).
- Sakai, S. 2000a. Recent Dermapteran information. *Bull. Daito Bunka Univ.*, (*Natural Science*), (38): 1-97.
- Sakai, S. 2000b. Recent Dermapteran information (copy of Sakai, S. 2000a inserted with a corrected figure legend for Figs. 1 and 2 of page 30). *Forficula*, 2: 1-97. 酒井清六.
- 酒井清六, 2000c. 日本のハサミムシ. *Forficula*, 6, 174pp. 酒井清六.
- Shiraki, T. 1905. Neue Forficuliden Japans. *Trans. Sapporo nat. Hist. Soc.*, 1 (1): 91-96, pl.3.
- Shiraki, T., 1906. Neue Forficuliden und Blattiden Japans. *Trans. Sapporo nat. Hist. Soc.*, 1 (2): 1-14 (183-196).
- Shiraki, T. 1928. Dermaptera aus dem Kaiserreich Japan. *Insecta Matsumurana*, 3 (1): 1-25.
- 素木得一・岡本半次郎, 1905. マツカリヌプリ採集昆虫類. 札幌博物學會會報, 1 (1): 139-148.
- 藺部 礼, 2005a. 北海道におけるハサミムシ, 約半年の採集記録. 蝦夷白蝶, 18: 4-5.
- 藺部 礼, 2005b. 石狩浜にてオオハサミムシを採集. 蝦夷白蝶, 18: 6-7.
- Steinmann, H., 1985. The Dermaptera material of the Zoological Institute and Museum, Yerevan. *Folia entomologica hungaria*, 46 (1): 165-170.
- 多田内 修, 1989. 革翅目. 平嶋嘉宏 (監修), 日本産昆虫総目録, 59-60pp. 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター (共同編集).
- 高橋耕司, 2002. 日本産ハサミムシの県別・島嶼別分布覚書. ぼったりぎす, (128): 1-7. 日本直翅類学会連絡誌.
- 田辺秀男, 1979. 北海道の昆虫, 304pp. 北海道新聞社.

*) web へのアクセス日を示した.